

## 赤倉山と谷川岳 雪山体験講習

【行動日】 2019. 12. 21(土)～22(日)

【参加者】 CL 柘植、SL 澤田淳、澤田路、古関、飯田、川上、下牧、海保、下梁

【行程】

12/21 花咲の湯の先から枝林道を入ったところ(駐車)11:20→12:25 赤倉山 12:40→駐車地点  
13:20

12/16 ロープウェイ天神平駅 9:10→熊穴沢避難小屋 10:20→11:40 谷川岳 12:00→13:40 天神平

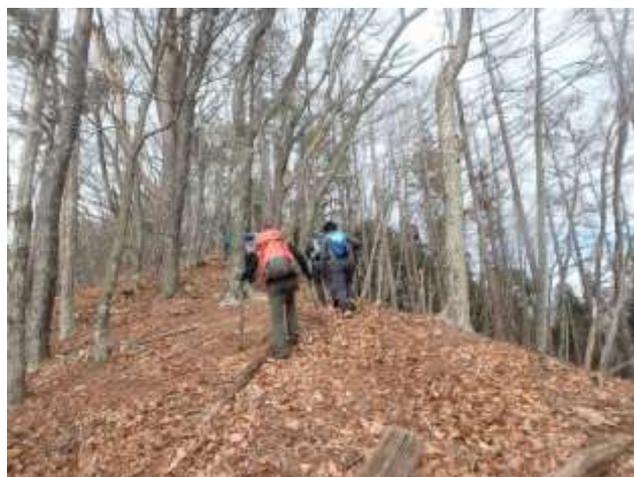
(ワカン歩行体験 30分)



【内容】

12/21 (土) 赤倉山 (片品村と川場村の村界)

雪山体験講習のメインは二日目であるため、初日は千葉をゆっくり出発して短時間で登れる川場村の赤倉山で軽雪山ハイクを楽しむ腹積もり。去年は同じエリアの朝倉山というところに行ったが、そこそこ雪があったので今年もと思っていた。結果は残念ながら今年もは近年まれに見る寡雪ということで、結局全く雪がなく、道がないのでヤブ山ハイクとなってしまった。



枝林道を行けるところまで行って駐車

適当なところから取付くが雪なしヤブなし

道のないヤブ山ではあるが、我々がとりついた枝尾根はヤブもなく快適に登れた。1時間ちょっと

で赤倉山に到着。さすがに上州武尊は上部が白いが、まだまだ雪山という感じではない。日光白根から皇海山への稜線も同じような感じで、今年の雪の少なさを実感する。



途中で車の見える場所を通過



主稜線直下の急登



赤倉山の山頂



帰りは周回してクルマ近くに直接下降

帰りは往路をそのまま戻るのもつまらないので、ちょっと遠回りして周回で戻ることにする。目をつけた尾根は下草はあったが歩行には全く支障なく、40分くらいで林道に降り立つことができた。花咲の湯で汗を流して明日どうするか作戦会議を開催する。案としては①日光白根山の丸沼高原コース②土合の赤沢山③土合の白毛門あたりが候補に挙がったが、①はゴンドラが動いておらずボツ、②は土合駅周辺にまったく雪がないという情報から道のない本格ヤブ山はやめた方がよいということでボツ、③は道があるので雪がなくても登れるが雪山を体験したいという新人さんたちの希望で却下。

結局動いているロープウェイで高いところに行かないと雪がないということから唯一ロープウェイが動いている谷川岳天神尾根コースに行くことにした。そうと決まれば泊りは水上の道の駅。沼田IC近くのガストで夕食をすませ、水上のセブンで酒や翌日の行動食を買い込んで道の駅で軽く宴会をして翌日に備えて21時には就寝した。

12/22（日） 谷川岳

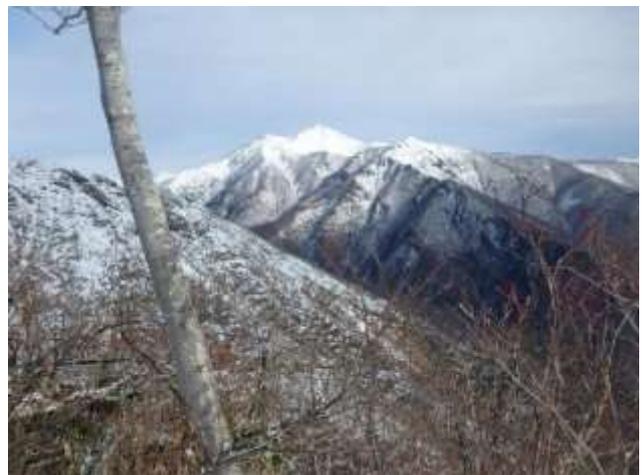
ロープウェイが8:30始発なので、8時すぎに立体駐車場に着く。すでに結構な人が切符の販売開始を待っているが大半が登山者。天神平は積雪40cmで滑降可能とはなっていたが、やはり十分ではなくまだスキーヤーはほとんどいない。上の駅に着くとすでに多くの登山者が準備中であったり、すでに出発していた。少人数パーティももちろんいるが、多人数の訓練山行らしきグループも多い。最初からアイゼンを装着して巻き道を歩いていくと、眼前に真っ白な谷川岳の山頂部分がドーンと登場。望外の青空に映えてとてもきれいだ。1ピッチで熊穴沢避難小屋に到着。ここから登

山道は傾斜を増し、そのまま肩の小屋まで続いている。このころから天気予報とおりでだんだんとガスってきて景色は望めず、ひたすら急登にたえて頑張る。川上さんがボッカ訓練と称して全荷物を背負ってきたので皆から遅れてしまう。小屋のところで待っていたがなかなか来ないので、海保さんが待っていてくれるというので他のメンバーで山頂を往復してくる。山頂は風が強く、ガスのなかで長時間いたいところではないので、写真だけ撮ってさっさと小屋に戻る。このころようやく川上さんが到着。全員で小屋の裏の風がこないところでしばし休憩。帰りはずっとガスの中かと思っただが、途中から雲の下に出たのか眺めがきくようになり、往路の70%くらいの時間で天神平に戻れた。今回は最初から最後までアイゼンだったので、ここでワカンを履いて歩行訓練。ただ雪が少ないうえに、結構締まっていてあまり潜らないので、ワカンの威力をあまり体感できなかったかも。付近の斜面で滑落停止訓練をやっているパーティもいたが、なんとなくそんな気分になれなかった。さっさとロープウェイで降りてしまったが、一応訓練山行と銘打っていたので、あとで反省。帰りはいつもの鈴森の湯で汗を流し、道の駅近くのとんかつ屋で打上げを行って解散とした。

山行報告： 柘植 秀樹



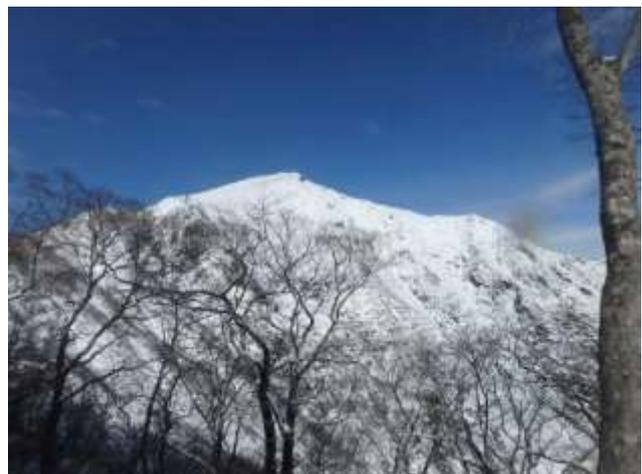
予想外の結構いい天気



湯檜曾川の向こうの山々



天神尾根はまだ巻き道を行ける



青空に谷川岳がそびえる



肩の小屋手前の最後の登り



指導標も氷化粧



肩の小屋



待望の谷川岳山頂



雲の下に出て往路を戻る



天神平でワカン装着・歩行訓練